

令和元年度 第4回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和元年6月5日（水） 14時00分から15時15分まで

開催場所：市長公室

出席者：牧野市長、木下副市長、寺澤総務部長、櫻井総合政策部長、細田リニア推進部長、塩沢リニア推進部参事、松下市民協働環境部長、清水健康福祉部長、遠山産業経済部長、寺田産業経済部参事、北沢建設部長、島崎建設部参事、前澤上下水道局長、宮内市立病院事務局長、串原市長公室長、北澤危機管理室長、原会計管理者、吉川議会事務局長、今村教育次長、赤羽目消防長兼総合政策部付参事、原田秘書広報課長、塚平財政課長、田中企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

本日より第2回定例会が開会したが、今後の一般質問や委員会対応についてよろしくお願ひしたい。

また、先日の防災訓練の反省点については、関係部局から既にいろいろ出されていると思うが、自分としても、PDCA（Plan/Do/Check/Action）サイクルを意識した訓練にすることが重要だと感じている。参加する職員自身がスキルアップしたという手応えが感じられるよう工夫をして実施してもらいたい。

<副市長>

市長との協議や会議で示された方針や判断に対して曖昧な進め方にならないよう、各部局で内容を点検した上で、適切な対応を意識して取り組んでもらいたい。

2 協議事項

（1）議会による行政評価について（議会事務局）

◇趣旨：「いいだ未来デザイン 2028」に対する議会による進捗管理のため、3つの常任委員会の構成員による予算決算委員会分科会が、各基本目標についてマネージメントリーダー（部局長）から説明を受け、分担して行政評価を行う。また、複数の分科会に関連する項目の場合は必要に応じて連合会議を開催する。

◇論点・課題

- ・上記の行政評価は新たに設置した予算決算委員会の所管事務調査に位置づけて実施する。
- ・いいだ未来デザイン 2028 の評価を中心とするが、必要に応じて事務事業や分野別計画も取り扱うため、議会の要望に応じて分野別計画の評価シートを作成し提出する。

◇主な意見等

- （危機管理室長）未来デザインとの重複する分野別計画の評価シート作成について確認
- （市民協働環境部長）議会評価とあわせて、市民会議に向けたスケジュールも今後、企画課から示してほしい。

◇協議結果

部長会了承

3 報告事項

（1）職員の仕事と生活の調和の推進に関する事業主行動計画について（総務部）

◇趣旨：平成30年度実績（5年計画の中間評価含む）と令和元年度の取組みについて説明する。6月27日に予定されている飯田市議会全員協議会で報告する。

◇論点・課題

- ・ワーク・ライフ・バランス推進として、庁内への周知徹底や時間外・休暇管理システムの導入やキャリ

アデザイン研修を実施し、全体としては前年に対して改善結果が見られる。だが、男性職員の育休については実績がなく、今後の工夫が必要と思われる。

◇主な意見等

(市長) 男性職員の育休取得の改善など、全国平均も比較した分析をしながら、今後も引き続き取り組んでほしい。

(2) 第6次飯田市男女共同参画計画の実施状況の報告について (市民協働環境部)

◇趣 旨 : 飯田市男女共同参画推進条例に基づき、第5次飯田市男女共同参画計画の平成30年度実施状況を報告する。

◇論点・課題

- ・市内227事業所を訪問し、第6次計画の周知と状況把握に取組み、集団セミナー及び個別相談会を新たに実施した。
- ・審議会・委員会等の女性比率(28.2%)は多少上がったが、目標値(30%)は達成できていないため、比率向上にむけた働きかけをさらに行っていく。

◇主な意見等

特になし

(3) 飯田市多文化共生社会推進計画の実施状況報告について (市民協働環境部)

◇趣 旨 : 飯田市多文化共生社会推進計画の平成30年度実施状況の報告をする。

◇論点・課題

- ・外国人籍の子どもの教育支援として、進学ガイダンスに高校教員が参加し、悩みを抱える親子と直接相談する機会を新たに設けた。ゴミ出しガイドブック(中国語、英語、ポルトガル語)に新たにベトナム語を追加、やさしい日本語研修会等を開催した。
- ・外国人籍住民の多国籍化に対応するため、新たな日本語指導者の養成、言語バリアフリーを推進する必要がある。

◇主な意見等

(教育次長) 様々な取組みがあるが、文字情報が多いので、現場のイメージが持てるよう写真を加えるなど資料の工夫していただきたい。

(市長) 国全体の動向をふまえて議会には説明してもらいたい。

(4) 飯田市が管理権原者となる施設における受動喫煙防止対策調査の結果報告について (健康福祉部)

◇趣 旨 : 改正された法律の適用に伴い、所管施設等の今後の対応に関する調査結果について報告する。

◇論点・課題

- ・第一種施設及び第二種施設の対象となる市所管施設の整理を行い、今後の方向性については、今後の国等からの判断や資料に応じて判断をしていく。

◇主な意見等

(病院事務局長) 今後の各施設の対応についての市民への周知方法の確認と合わせて、これを機会に禁煙を検討する職員に対するフォローにも取り組んでいただきたい。

(保健課長) ホームページや広報等で周知をしていく予定。禁煙者へのフォローも検討していく。

(5) 土砂災害・全国統一防災訓練に見る課題と防災力向上に向けた対応について (危機管理室)

◇趣 旨 : 6月2日の防災訓練について各部局からあげられた反省及び課題と今後の対応の報告をした。

◇論点・課題

- ・本部事務局員の役割の明確化と基礎的な知識不足により、本部員内の連絡系統が混乱する様子があった。

今後に向けて、本部員の知識向上のための研修や、本部員会議による課題分析や目標設定を行う中で改善を図りながら、9月の訓練に反省をいかしていく。

◇主な意見等

(建設部長) 今後の取組みのひとつとして、道路災害への対応のフォーマット化にむけた手法訓練を地域の防災組織ごと実践できれば、市との連動も向上できると思う。

(総務部長) 9月の防災訓練を見据えて、職員の研修や研究を実施するというのであれば、業務に影響がでないよう早めにスケジュールを示していく必要がある。

(副市長) 土砂災害においては建設部の役割が重要になってくる。通行止めや内水排除など様々な対応が想定されるので、部内においても整理を進めてほしい。

(病院事務局長) 防災訓練の改善策とあわせて、BCP(事業継続計画)の策定も今後進めていく必要があると思う。

(教育次長) 教育委員会は学校や教育施設も多い。教育長や次長が市の本部に詰めてしまうことにより現場指揮への影響が懸念される。所管施設への対応も配慮し本部体制の見直しも今後検討していただきたい。

(市長) 教育委員会については学校とも連携した訓練の実施を今後検討してほしい。

(6) 南信州定住自立圏共生ビジョンの改訂について(総合政策部)

◇趣旨:平成21年度から取り組んでいる定住自立圏の改訂に伴い、成果指標(KPI)達成状況と見直し内容について報告する。

◇論点・課題

・構成市町村において「生活機能の強化」「結びつきやネットワーク」「人材育成」を目標に設定した数値に対しては概ね上回ることができ、圏域内外との交流や移住促進に取り組みもしているが、人口減少への歯止めとはなっていないのが現状。

・外部人材や専門家との連携を深め、知見を共有して、より効果的に定住自立圏の取組みを進めていく見直し趣旨で2023年度まで改訂を行う方向で進めていく。

◇主な意見等

特になし

(7) 第2回定例会各委員会協議会報告事項について(総合政策部)

◇趣旨:6月17日(月)~6月25日(火)に開催が予定されている、飯田市議会第2回定例会の各常任委員会協議会の報告事項を報告する。

◇主な意見等

特になし

(8) 第2回定例会各委員会協議会報告事項について(総合政策部)

◇趣旨:6月27日開催予定の飯田市議会委員会協議会で案件2件を報告する。

◇主な意見等

特になし

4 その他、連絡事項

5 閉会